

祐善寺だより

第43号

発行日

2019年10月10日

真宗大谷派 祐善寺 住職/岡崎 賢 福井県丹生郡越前町上糸生20-2 TEL 0778-34-5170 FAX 0778-34-5170

今年より、「全門徒二斉作業奉仕デー」を実施します!!

今年は、十月二十七日(日)に実施!!

「祐善寺だより」前号(第42号)で、

野村軍一責任役員は、「全門徒一斉作業奉仕デー」を実施する趣旨について、

「祐善寺は、住職寺族と、門信徒全員の掛け替えもなく、大事な共有財産であり、それらを守り、次代に引き継いでいくことは、住職寺族、並びに全門徒の重要な努めです。」と書いて頂いております。

住職寺族と門信徒みんなの共有財産である祐善寺に、一年に一回、可能な限り全門徒が集い、作業奉仕に汗を流していただくことは、大変、有意義で、有り難いことでもあります。

勿論、ご高齢の方、お身体のお悪い方、ご都合のお悪い方等、ご無理を申し上げることではありません。ご協力頂けるご門徒さんに、ご無理のない範囲でご協力、ご参加いただきたく、お願い申し上げます。

つきましては、下記の通り実施させていただきますので、ご協力下さいますよう、お願い申し上げます。

【実施日時】

十月二十七日(日) 午前八時集合

(十一時半頃終了予定)

【作業内容】

○ 本堂・庫裡

ガラス拭き、拭き掃除等

(主に婦人部のご門徒)

○ 境内・石段

環境整備、修復(主に男性のご門徒)

○ 仏具磨き

本堂内の全ての仏具磨き

(主に報恩講当番地区のご門徒)

【持ち物】

○ 女性 ガラス拭き布、雑巾(古手拭)

○ 男性 軍手、鎌、スコップ等

【申込み】

大変お手数ではございますが、ご協力頂けます方は、十月二十五日(金)までに、祐善寺(〇七七八―三四一五―一七〇)まで、お電話等頂きますと有り難いです。



報恩講の前に
仏具磨きを行います

本堂・庫裡の窓ガラスを
拭いて報恩講を迎えます

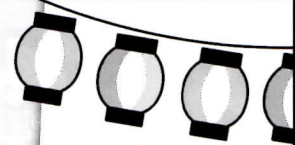


石段横の草むしりに
汗が流れます



寺族、ご門信徒の共有財産である祐善寺を、みんなの力で護ろう!!
ご協力よろしくお願いたします!!

ご門徒の皆さんの
ご理解とご協力をお願いします!!



子ども報恩講&納涼祭2019

炎天下に、子ども37名を含む98名が参加して盛大に開催！



今年の「子ども報恩講&納涼祭」は、連日35℃を超える中、8月11日(日)に開催されました。

昨年まで数年間、7月の第三土曜日に開催してきましたが、各地で行事が目白押しで、また、土曜日ということでお勤めの方もおられて、一人でも多くの方に協力、ご参加頂きたいとの願いから、今年は、8月のお盆前に計画したものです。

酷暑続きの炎天下での開催にも拘わらずに、今回も、百名近い方々にご参加頂き、仏様の前で楽しい真夏の思い出をつくる事が出来ました。大変、有り難いことです。



「子ども報恩講」で、子どもたちは熱心に正信偈のお勤めをしました。

◆「子ども報恩講&納涼祭2019」大盛況！(御礼)

実行委員長 上野三千男
祐善寺の特別な縁日が、8月11日に子ども中心に「祐善寺子ども報恩講&納涼祭」が開催され、子ども37名、大人61名の大勢の参加を頂き、盛大に開催しました。

恒例の流しそうめん、焼き鳥、焼きそば、フランクフルトなどに加え、新たな振舞いとして「かき氷」の登場。ヨーヨー釣り&スマートボールすくいなど長い列が出来る程、大盛況でありました。最後に、参加者全員でのビンゴゲームで楽しい一時(ひととき)を過ごしました。
しかし、今年も暑かった。お手伝いの皆様、汗「たくさん」。
来年も皆さん期待して下さいね。最後に、住職、若院、実行委員他、関係者の皆様、ご協力ありがとうございました。

子ども報恩講お友だちより

わたしは、クイズとちかひのことはを言いました。ドキドキしたけど、去年より大きな声で言えました。たのしかったです。(小学三年 渡邊芽)

わたしは、お寺ののりようさいでおきようをあげるのがむずかしかったです。めいちゃんやさえちゃんと同きゆう生どうして、ヨーヨーやスマートボールすくいをやるのが楽しかったです。ながしそつめんできえちゃん、ゼリーをたくさんとっていたので、びっくりしました。わたしは、ビンゴでほしかった商品があったって、よかったです。
来年のお寺の、のりようさいが楽しみです。(小学三年 松島千春)



スマートボールすくいコーナーも子どもたちでいっぱい！



今年初登場の「かき氷」！ 勿論、大好評でした！

投稿ページ

人様にやる気を出して 貰える話し方を 野村軍一



先日必要があつて、長く続けてきた「花だより」のファイルを整理していた時、十九年前に書いたこんなものが目に留まりました。遙か昔に書いたものだとということに加えて、秋に水仙の花だなんて季節外れの上、チト恥ずかしい話まで含まれているのですが、どうぞ御笑覧下さい。

ここ暫く入院している友人の気慰めになればと思つて水仙の絵手紙を描き、妻の反応を確かめるために見せた。昔、文化体験講習で、絵手紙は上手に描こうとは思わなくてもいい、下手でいい、下手がいいと聞いたことがあるので、私は絵手紙は構えることなく気楽に描くことにしている。だが、それでも今日の絵の出来は、チト酷すぎはしまいかと気になったからである。

「つわつ、上手やねー」
妻は大きめの声を上げた。そうか、私の絵も満更でもないのか。それじゃついでに、仕事でお世話になっているYさんにも出そう…、そんな気になった。ヤッパリ人様にやる気を出してもらうためには、褒めるに限る。ここでちよつと内緒の話だが、その時の妻は何時よりちよつぴりだけ、ホンノちよつぴりだけ可愛く感じたのだから誠に不思議な話ではある。

「これつて、水仙の花やつて分かるもんね。」止せばいいのに、妻はそんな一言を付け加えた。なあんだ、「上手やね」つていうのは、水仙とタンポポの区別がつく程度の出来栄えということだったのか……。それが分かつた途端、もう一枚描こうかとの気持ち失せると同時に、チトだけ可愛いと感じた筈の妻の顔は、不思議なことについてのか見慣れたあの顔に戻つて来た。

言葉は不思議な力を持っている。落ち込んでいる人を元気づけることが出来るし、逆に何十年もの間人様の心に突き刺さつて苦しめ続けることだつて出来る……。

ヤッパリ、人様を元気付け、人様にやる気を出して貰えるような言葉遣い・話し方を心がけたいと、私は思つた。

夫へ

桑原文子

自動車の運転免許を取得してから30年になる。免許を取るのを勧めたのは全て夫だった。あの頃は自転車でも十分だと思つていたが、今は自動車がなくはならない日々だ。祐善寺へお詣りするのにも織田でのコーラス練習に行くのにも高年大学に通うのも、自転車ではつてい無理。
免許証返納が叫ばれているが、当分手放せない。気を引き締め安全運転するしかない。夫のおかげで充実した日々がおくれている。感謝の言葉（ありがとう）を届けたい。

ひとり言

上野養治

この頃のテレビなどを見聞きして、お願いしているのにもかかわらず「〇〇してくれるのは…」の言葉に違和感を抱いています。社会人として丁寧語の色々な言葉づかいを習い失敗もし、目の上の人やお客様との会話などを行つてきたのですが、今のご時世、マスコミやタレントと言われる方々に「教えてくれるのは…」のようなくれる」の言葉が多く使われているように思います。「教えて頂く」がいいな。相手を尊敬し大事に想つこと。謙虚でありたいものです。

令和元年度護持費の志納よろしくお願ひします

祐善寺を永代に互つて護持していただくために、護持費をお願いしておりますが、今年も次のおりご志納下さいますようお願いいたします。

◇護持費の用途

- ・ 報恩講の厳修費や教化事業の実施
- ・ 本堂を守る火災保険や環境維持費用
- ・ 本山相統講、福井教区賦課金等
- ・ その他

◇年額

一戸 一〇、〇〇〇円(以上)

◇志納方法

- ・ 寺へ直接志納する
- ・ 秋まわりや法事で住職が貴家を訪問の際に志納する
- ・ 地区の役員さんに志納する
- ・ 郵便振替口座
(〇〇七七〇—九一三〇七二—)
- ・ 加入者〓祐善寺へ振り込む

◇志納期限

毎年十一月末日

親鸞聖人御誕生八百五十年・ 立教開宗八百年慶讃法要について

お願い

浄土真宗の宗祖であられます親鸞聖人は、承安三年（一一七三年）に京都・日野の里にて御誕生されました。来る令和五年（二〇二三年）に御誕生八百五十年を、また、その翌年には、浄土真宗の立教開宗八百年をお迎えする年となります。

浄土真宗のみ教えに導かれ、生きる喜びを頂いている私達浄土真宗の門徒は、親鸞聖人御誕生八百五十年といつこの御勝縁を心よりお祝いし、浄土真宗の立教開宗八百年の重さと尊さに感謝し讃嘆させて頂きたいと思えます。

この機にあたり、本山（東本願寺）では、下記の通り慶讃法要が厳修されます。
つきましては、慶讃法要の円成を願って、本山より、門信徒各位に慶讃法要懇志金のお願いがございませう。どうか、慶讃法要の願いをお汲み取りいただき、格別なるご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



親鸞聖人御誕生八百五十年・ 立教開宗八百年慶讃法要

【法要テーマ】
南無阿弥陀仏
人と生まれたことの意味をたずねていこう

【期 間】 第一期法要

令和五年三月二十五日～四月八日

第二期法要

令和五年四月十五日～二十九日

◆慶讃法要御懇志金のお願い

このたびの慶讃法要の円成を願い、門信徒各位より懇志金を賜りたく、お願いいたします。

□御懇志金額 一口 五千円

□記念品

御懇志を進納されたすべの方には、本山より記念品が用意されています。

□御懇志受付期間

令和元年十一月より
令和四年十二月まで

□御懇志進納方法

慶讃法要懇志金にご協力下さる方は、お手数ながら、次の方法でご進納下さいますよう、お願いいたします。

- ① 祐善寺での報恩講、永代経会、同朋会、彼岸会等に参詣された時に納めて頂く。
- ② 貴家の秋回り、法事等で住職がお伺いした時に、住職に預ける。
- ③ 直接、祐善寺へご持参頂く。
- ④ 郵便等で、届けて頂く。
- ⑤ お電話を頂ければ、貴家へお伺いさせて頂く。



おくやみ

谷口縫子様（福井市松本二丁目）には、令和元年六月二十九日、行年九十三歳にて往生の素懐を遂げられました。
ご生前中のご功勞に、心より深謝申し上げます



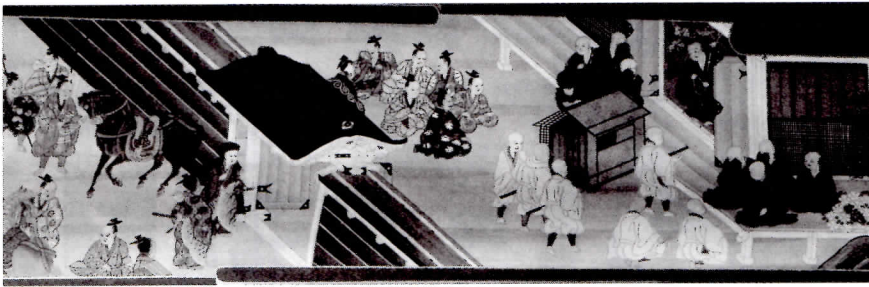
野村芳江様（東京都）には、令和元年七月二十九日、行年九十五歳にて往生の素懐を遂げられました。
ご生前中のご功勞に、心より深謝申し上げます



令和元年度年忌表 かけがえのない ご先祖様 の 年忌法要を お勤め下さい！

本年度の年忌法要は、左記のとおりでございますので、貴家の過去帳等を御確認していただき、皆様にとられてかけがえのない御先祖様の年忌法要を是非、勤めて下さいませよう、お願いいたします。

- 五十回忌 昭和四十五年没
- 三十三回忌 昭和六十二年没
- 二十五回忌 平成七年没
- 十七回忌 平成十五年没
- 十三回忌 平成十九年没
- 七回忌 平成二十五年没
- 三回忌 平成二十九年没
- 一周忌 平成三十年没



出立時、多くの門弟に、「私は、決して流刑を恨みに思うてはいない。どうせすぐみんなと別れねばならぬ老齢である。今まで都にばかりいたが、これからは辺鄙な地方へ行つて念仏を弘めるゆえ、むしろ朝恩というべきである。」と、仰せられたのである。

第十二回

親鸞聖人御絵伝

法然配流

承元元年（一二〇七年）二月、法然上人は、法難により、いよいよ京の都を後にして、配所土佐の幡多へと向かわれました。

この絵図は、七十五歳の法然上人が、配所へ向けて輿にて出発されることとしているところの図である。門内正面玄関（絵図右）から、輿に向かつて出かれなされる黒衣姿の法然上人。その右側、縁側で、上人とお別れを歎き、袖で顔を覆う門弟たち。輿の近くにも見送りの門弟。多くの門弟たちに見送られて法然上人は、配所へ流刑地へ赴かれたのであります。

「親鸞聖人御絵伝」

浄土真宗の宗祖、親鸞聖人のご生涯を広く讃えんがために、親鸞の曾孫に当たる本願寺第三世覚如上人が親鸞聖人の求道の歩みを詞を著し、初稿本の絵は、親鸞聖人の直弟西仏房の孫、淨賀法眼に描かせています。

詞の部分を「御伝鈔」、絵の部分を「御絵伝」と呼び、各寺院の報恩講において御絵伝四幅を余間に奉掛し、厳肅に御伝鈔が拝読されます。

（参考文献「親鸞聖人伝繪」「親鸞聖人御絵伝」）

其の39

仏事 一口メモ

法事のころ

皆さんは、家族の方が亡くなられた日を何とお呼びしていますか。亡くなった日ということでは「死日」とおっしゃる方もありますが、仏教では「命日」といいます。本願寺第八代の蓮如上人は「明日」という表現もされています。

つまり、「命の日」とか「明るい日」ということをもって、家族の人が亡くなられた日をいただいていたのが浄土真宗の伝統であり、教えでもあるわけです。（毎月の命日に対し、毎年の月日にあたる命日を祥月命日といいます）

一年間を振り返りますと、身の回りにはたくさんさんの記念する日があります。命日は、私たちがとって記念する日の一つといえましょう。何の記念かと申しますと、死をもつて生を考へる日、つまり「命を考へる記念の日」ということです。そのような日を命日といい、亡き人が私たちに与えてくださった日なのではないでしょうか。

その上で、法事＝年忌法要となりまして、例年と違い特別な年になるわけ

です。法事には「亡き人を偲びつつ如来のみ教えにあつ」という大事な意味があります。

亡くなつていかれた方が私たちに何を語りかけているのか。それを語り合い問い返すことによって、意味のある法事になることでしょうか。

また、「如来のみ教えにあつ」という、前項で申し上げた「聞法」と「報謝」という意味からすれば、法事と仏法聴聞とを切り離しては意味がありません。住職を招き、法話をいただくことも欠かせないことです。

これらのことを総合して考えてみますと、法事の日取りを決める場合、命日もしくはそれに近い日にとめるのが望ましいわけです。住職の都合を確認しておく必要もあります。また、お招きする方々の集まりやすい日という配慮も必要でしょう。

一般的に、法事をつとめる場合、命日よりも早い方が良くいわれますが、浄土真宗の教えにその根拠はありません。大切なのは、聞法と報謝の心です。そのお心をもって法事に臨んでいただきたいと思ひます。



引用文献 東本願寺真宗会館「仏事ひとくちメモ」より

お知らせ

報恩講御案内

十一月二日(土)

日中 午前十時

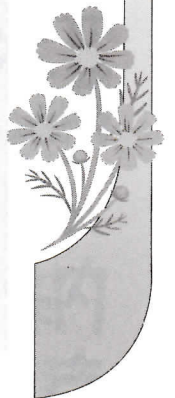
御齋 午前十一時半

逮夜 午後一時半

法話 出雲路善公師
(福井市南居・陽願寺住職)

親鸞聖人のご遺徳を偲び、右、例年の通り報恩講を厳修いたしますので、万障お繰り合わせの上、ご家族、ご知友、ご法友お誘いあわせの上、何卒ご参詣下さいますよう、ご案内申し上げます。

合掌



ボランティア募集!!

雪囲い作業奉仕

とき 11月10日(日)

8時集合(午前中)

持物 鎌(カッター)、軍手、合羽(悪天時)等

JAIイベント保険

加入します。

作業内容

本堂、庫裡等の雪囲い作業をお願いします。高所での作業が苦手な方は、下で雪囲いシートのヒモ結びや資材運び等の作業もありますので、ご都合のつく方は、是非ご協力をお願いします。

お願い

甚だお手数ながら、ご協力いただけます方は、保険に加入し、11月7日(木)までに、地区担当役員、もしくは祐善寺へご連絡下さいますよう、お願いいたします。



参加者募集

本山報恩講

福井教区団体参拝

本山(東本願寺)では、毎年十一月二十一日から親鸞聖人の御命日である二十八日まで御正忌報恩講が厳修されます。今年も、左記のとおり福井教区より、団体参拝参加者を募集します。参加ご希望の方は、祐善寺までお申し込み下さい。

記

日 時 十一月二十一日(木)

日帰り

交通手段 大型バス

参加費 四千五百円

募集人数 四十名(各組)

備考

参加定員がありますので、お早めにお申込み下さい。バス乗車地、時間等、詳細については、参加申込者に後日、ご連絡させて頂きます。

※今年の団体参拝は、二十一日の音楽法要を参拝後、親鸞聖人のご旧蹟である、大谷祖廟や親鸞聖人ご誕生の日野・法界寺等を、参拝します。

編集後記

読売ジャイアンツ

★読売ジャイアンツは、5年ぶり37回目のセ・リーグ優勝を達成しました。優勝までの道のりを振り返ります。取り敢えず「優勝おめでとう」と言おう。

今年の1月に事件、「丸が欲しい」「灰谷が欲しい」と生え抜きの二人、内海・長野を放出。勝つために最善の努力の結果であったが、今後の巨人の行く末は、どうなのか?今後の巨人が思う以上に深刻な影響を与えるのではないかと感じる。

巨人に入りたい一心で、他球団を蹴って入団した内海と長野。思い起こすとオリックスと日本ハム・ロッテ蹴って社会人野球へ進み、3年後に入団。巨人一筋の人生設計を買った2人であった。そして、期待通り活躍しチームの中心となって活躍したのは、ご存知だと思っ。

振り返るとV9世代の少年時代「燃える男・長嶋」に憧憬から巨人ファンになっていた気がする。また、大学時代は、「江川事件もあったなあ」それでもファンであった。

しかし、今年優勝をしたが1月の事件以来、気持ちはすっきり冷やえ、巨人の勝敗に関心を抱かなくなった気がします。(年のせいだろうか)

最後に長野選手は大学の同窓である。長野ガンバレ! 日大健児より

★全門徒一斉作業奉仕デイにご協力下さい。報恩講にご参詣下さい。

(上野三千男)